

独立行政法人奄美群島振興開発基金 事業年度評価の全体評価シート

中期計画の項目	評 定	理由・指摘事項等
第1 業務運営の効率化に関する目標を達成するためとるべき措置	A <sup>+</sup> ・A・B・C・D	年度計画を上回る実績をあげ、組織の見直し・一般管理費の削減等の効率化に向けた取り組みが認められる。ただし、継続的な努力が必要。
第2 国民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置	A <sup>+</sup> ・A・B・C・D	年度計画を満ち、標準期間内の処理等の業務の質の向上に向けた取り組みが認められる。ただし、今後もいっそうの改善努力が必要。
第3 予算、収支計画及び資金計画	A <sup>+</sup> ・A・B・C・D	今後の努力により中期計画の達成は可能と思われるが、各年度計画を着実に達成していくことが必要。
第4 短期借入金の限度額	○・×	限度額は遵守されている。
第5 重要な財産の譲渡等の計画	-	
第6 剰余金の使途	-	
第7 施設及び設備に関する計画	-	
第8 人事に関する計画	A <sup>+</sup> ・A・B・C・D	年度計画をおおむね達成しているが、今後、取り組みを具体化させることが必要。
第9 その他業務運営に関する重要事項	A <sup>+</sup> ・A・B・C・D	出資業務の廃止に向けて十分な取り組みが認められる。

全体評価

中期計画達成に向けた年度計画の実施状況は、高く評価できる。特に、業務運営の効率化に関する目標については、運営体制の効率化と一般管理費の削減を順調に進展させている。また、国民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標についても、事務処理の迅速化等の進展により年度計画を満ちす高い水準の実績を達成している。総合的な評価として、事業年度の実績を踏まえると、中期計画を達成できることが見込める状況である。

このように、今事業年度の取り組みは順調であるといえるが、引き続き不断の向上努力が必要であり、特にいくつかの点に注意することが必要である。第1に、保証・融資業務においてリスク管理債権割合及び回収率についての数値目標が達成されておらず、改善へ向けての検討が必要である。第2に、予算、収支計画及び資金計画について、計画に比べ融資業務が順調でない点は、経済状況による影響もあるとみられるが、条件設定等の見直しの対応も含め、きめ細かなニーズの把握努力が必要である。第3に、人事に関する中期計画で掲げたことについて、各事業年度においてより具体的な取り組みをしていくことが必要である。第4に、ホームページは、情報提供や意見聴取の有力な手段と期待されるので、一層の活用に向けて今後方策を講じる必要がある。